

## 次期輸送機C-2の地上試験における不具合への対応等について

### 1. 経緯

次期輸送機C-2については、平成26年1月7日、機体構造の強度確認のための地上試験において、航空機が高高度を飛行する場合に胴体にかかる機内の気圧を、通常運用でかかる圧力の約1.2倍まで負荷したところ同機の貨物扉、後部胴体等に損壊が発生しました。

原因究明及び対応策の検討を行った結果、損壊した地上試験用の胴体について、量産機の胴体を活用して確保する等の措置を講じて試験を再開することとしてきました。

### 2. その後の進捗

上記の措置を講じた新たな地上試験用の胴体を用いた地上試験については、平成27年3月に必要な準備が整ったことから再開し、機内の気圧を通常運用でかかる圧力の1.35倍まで負荷を行い、強度に問題がないことを確認し、引き続き試験を実施中です。

また、主翼や降着系統等の試験についても再開し、これまでのところ計画に沿って順調に進捗しており、C-2の強度に新たな問題点は発見されておりません。

### 3. 今後の計画

今後防衛省としては、平成28年度末のC-2の開発完了及び部隊配備に向けて、着実に各種試験を進捗させるとともに、引き続き万全の態勢で安全確保に努めて参ります。

(問い合わせ先)

防衛装備庁 プロジェクト管理部  
事業監理官 (航空機担当)

事業監理官 吉田 孝弘  
事業監理官補佐 濱 和彦  
電話：03-3268-3111(代)  
(内線) 26280、26270